



ぼらんていあ通信

11月号
通巻 No.468

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2020年11月25日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamivainfo/



「ほかほかふれあいフェスタ2020特別イベント」

「コロナ禍での思いをステージで元気に発散！」
あじさい会館ホールでの舞台演技を録画し配信



今年新型コロナ拡大防止のためほかほかふれあいフェスタは中止となってしまったが、さる10月17日(土)早朝から実行委員会の皆さんが準備にかなりの感染防止対策をしっかりと行い、10時からパフォーマンスを録画し配信する特別イベントが開催された。撮影は市民活動サポートセンターたすかるバンクの荒金忠司さん、また要約筆記や手話通訳の方々にもお世話になった。

(1)「スリッペン・パフォーマンス」による活動紹介とダンス

13人のレインボーズ(男性4、女性9)の皆さんは中央に車椅子の方、赤い洋服に両手に金色のボンボンを振りながら元氣よく楽しそうに踊り、観客も思わず手拍子を送り、ホール内が一体感に包まれている感じがした。

(2)「出張ミヤタ珈琲」による活動紹介と漫才や歌

宮田さんと里村さんによるシヨートコントから。「アメリカンの入れ方がわからないんだけど」「うすめるんだよ」「それはマスターの頭みただい(毛が薄い)」「笑い」
女子2人が「LOVE SWEET」を、男性ソロで



「時間お前は」が熱唱された。熱演ぶりに観客はすっかり舞台に引き込まれていた。

(3)「筆記通訳サークル・もみじ」による活動紹介

人の聞こえ方はそれぞれで、生まれつき聞こえない、聞こえにくい/病気や事故で聞こえなくなつた/年を取ってだんだん聞こえにくくなった/原因はわからないが聞こえなくなつたなど。世の中には情報が溢れていて、聴覚障がい者のためには沢山ある情報の中から、見てわかる形の情報に変える必要がある。言葉を覚えてから耳が聞こえなくなつた人には、文字で伝えるほうがやりやすい。紙に書く、スマホのメモ機能、FAXを利用するなど。音声情報をその場で文字情報に変えるには、話の流れを掴みポイントを押さえて文章にする要約筆記という方法があり、パソコンや手書きで行つ。サークルもみじでは、講演会、会議病院などでパソコンや手書きで聞こえない方々に情報を提供している。また、15年以上前から小中学校で福祉体験教室を行つていて、昨年は23校で実施した実績がある。



(4)「ふれあいサークル」

相模原合同チーム
「颯舞龍」と「笑楽」の2チームによるソーラン踊りの披露。



「かまを」の掛け声でポーズを決めると、土佐の高地の〜とワッショイの合いの手も入り威勢のいい踊りが舞台に繰り広げられた。赤と黒の鮮やかなコントラストの衣装でソーラン踊りが舞台いっぱいには繰り広げられる者を圧倒するような迫力だ！全員フエイシールドをしているとはいえ、表情もわかり、10人の踊り手と2人の旗手が舞台の上下で特別なソーラン旗を見事に繰り、会場は熱気に包まれた。

(5)手話ダンス「花言葉」公演

「野に咲く花のように」
人全員で、「花は咲く」は3人で、「魔法の言葉」は全員で。観客はソーラン踊りの後だけに心が静まり、優雅な手話ダンスにうつろした気分で見入っていた。



*「花言葉」さんの詳細は、P.3の「おじゃましますコーナー」に掲載しています。

新型コロナの影響で中止となったほかほかフェスタに代わるものとして、感染拡大防止策で制約の多い中、関係者のみの観客であっても、特別イベントが開催され、舞台のパフォーマンスを録画・配信したことは大きな意味があったと思う。準備にあたった実行委員のみならず、当口協力くださった手話通訳、要約筆記の皆さん、本当にお疲れさまでした。(山崎)



お世話になってます。



ボランティア通信の発送作業を

毎月お手伝いいただいている、さがみはら若者サポートステーションさんに活動の様子をつかいました。

さがみはら若者サポートステーションの紹介

さがみはら若者サポートステーション（以下、サポステ）は、自立を目標とする15歳～39歳の若者（2020年4月より40代の方も）利用可能な「サポステプラス」を開設しました。を対象に、面接対策や就活セミナーなどの多彩なプログラム活動を行っています。就職に向けて履歴書の書き方、面接のノウハウ等のノウハウを身に付けることは大切です。一方、すくすく働きたいという方も、自分の人生を選択する権利も持っています。

私たちが活動のなかで大切にしていることの一つは「人とのつながり、地域とのつながり」が大切です。

「つながりがない」と思っていたけど、気づいたらいいかわからず何年も過ぎた。この言葉は長い空白期間を経てサポステに訪れた若者の言葉です。空白期間が長ければ長いほど人とのつながりは薄れて孤立してしまいます。私たちは人と話す、関わることに不安がある、でも自分の世界や価値観をひろげたい若者たちさまさまざまな地域活動を通じて、

発送作業の現場から！



地元のお店街の人や町の人たちとかわりを持ち、ゆるやかに社会とつながっていきなりたい取り組みを行っています。

例えば、毎年、地域の夏祭りには清掃ボランティアとして参加をしています。清掃をしていると「ありがとう」「すくすく助かっているよ」と声を掛けられます。多くの人から声を掛けてもらった嬉しさを仲間にも分かち合っています。

また、月1回『ぼらんていあ通信』の発送作業のお手伝いをしていただくことも、若者たちにとって実社会とつながるきっかけとなっています。サポステから外に出て様々な人と出合いを重ねていくことで、「名前を呼んでくれた」「必要とされた」と、人に関わる経験を積み、「この人だったら何かできるかもしれない」「人にとって意外に面白いのかな」と、他者や自分へ期待する気持ちが芽生え、日々の喜びや幸せに繋がっていくのだと思います。

就職活動という履歴書から面接の流れが一般化されていますが、私たちは、若者が人や社会との地縁を作っていく中で、多様な生き方に出会い、仕事につながる道を見つけていくつもりです。



NEW DVD制作実行委員会の活動

リーダー 西本 敬



新型コロナウイルス感染症防止の観点から、ボランティア活動や様々なイベントも中止となることから、現状では、会って説明やPRする機会が極度に少なくなっている中、別の方法での活動の展開ができないかとこのことが理事会で検討されました。そして、大阪市協会の「集まるなくてもつながる方法」を参考にしながら、①ハンディキャップ活動紹介の「ユメオの更新」、②協会事業のPRに使えるものとして、DVD

D番組制作を検討することになり、普段できていなかった情報発信の充実を図ることになりました。こうして、このDVD制作実行委員会が招集されました。この委員会のリーダーは西本敬、事務局は小野明雄、委員は高橋功、杉本榮治、恒藤玲子の各氏、市社協から井上真吾さんにアドバイザー参加していただきました。

委員会は8月から既に3回行われ、以下のような方向性で活動しようとしています。

- ①ボランティア協会紹介ビデオ
協会紹介の三つ折りリーフレットに沿った内容で企画することになり、恒藤さん作成の原案をもとに検討することになりました。できるだけ見やすいものにするために、動画や静止画や音声をたくさん使ったものになります。
- ②ハンディキャップ活動紹介ビデオ
このDVDの目的は、見た人がハンディキャップ活動の手伝いをしてみようかなと思うようにすることです。

そこで、杉本さん作成の原案にそって検討していきます。構成としては、HC活動の全体像をしめす動画、簡単な協会紹介、ハンディキャップ活動の必要性と仕組みの説明、活動の詳細を示す動画、活動者や利用者のインタビュー動画、最後に活動ポイント制度の説明と活動へのお誘いとなっています。

これらの動画が市内の学校での説明や、活動に参加してみようかという方々に見ただけになることを期待しています。その時は、ぜひご利用ください。



ボランティア活動グループ訪問記



手話ダンスグループ「花言葉」



あじさいの雨の中、こども活動場所... 市立けやき体育館へお邪魔しました。部屋は一階石...



笑顔が素敵なお山さん(右)と佐藤さん

今、メンバーの人数は難聴者の方、ボランティアを兼ねている方など13人。練習は月3回。第1・3・4の金曜日午後1時30分...

ら踊りました。全てを覚えてはいるが、「見上げ...」の夜の星を「瀬戸の花嫁」など10〜15曲...

「歌詞をしっかりと覚えて、ステップ(足の動き)を頭...」練習もソーシャルディスタンスをとりながら...



練習もソーシャルディスタンスをとりながら♪

「見せたい、踊りたい気持ちで続けられる」など、準備ができて練習がはじまりました。静かなリズムの曲に...

12月の記念日は?

小倉義男

12月15日、観光バス記念日です。1925年のこの日、東京乗合自動車により日本初の定期観光バスである「ユーランバス」の運行が開始されたことから、記念日として制定...



*手話ダンス花言葉 代表 小山幸子

TEL 0421-0244

相模原市田名1-21-7-2

FAX 0421-7621-7530

(植野)

材側の私も未熟なもので、おかげで聞かせてもら... *手話ダンスのこと... 手話を使って歌詞のイメージを見ながらリズムの楽しさを合わせ踊りました。

「ボランティア協会会員の改選について」

役員選出の時期がやってきました。あなたの企画力をボランティア協会の事業に、是非活かしてください。理事の立候補受付は11月27日(金)より始まります。

立候補の手続きについては、事務局にて案内しています。分からないときは「相談ください」。

＊候補者としての資格

ボランティア協会会員であること。ただし、立候補の時点で入会、会員となった場合も有効。

推薦人は3人以上必要で、推薦人もボラ協会の会員です。

＊立候補届出の手続き

「立候補者届出書」は事務局にて用意しています。

＊立候補届出期間

11月27日(金)～12月25日(金)事務局開庁中(10時～15時)に提出または郵送で。

【選挙の日程】

＊投票用紙の送付

選出対象の立候補者の情報を添えて、1月のぼらんていあ通信に同封。

＊選出すべき役員の数

7人

＊投票期間

2月1日(月)～27日(土)

＊開票

3月

＊総会で報告・承認

5月

(役員選出管理委員会)

理事活動報告



11月14日(土) 定例理事会(理事7名出席)

一、報告事項

◆連絡事項

令和2年度市社会福祉功労表彰被表彰者決定

当協会受賞者 吉田チエ子様・小山美智子様

令和2年度市社会福祉協議会被顕彰者決定

当協会受賞者 多田和夫様・前島幸江様

◆広報委員会

ボラ通12月号12月21日印刷、22日発送

ボラ通12月号にハンディキャブ新車納入

並びに家具転倒防止活動を記事掲載

わくわくは1月23日発行50号をもって休止

◆HC委員会

11月21日ハンディキャブ新車(12号車)納入予定

ハンディキャブ利用者アンケート調査実施計画

◆その他

ほかほかふれあいフェスタ第3回実行委員会

10月17日(土) 特別イベント実施報告

12月6日(日) 障害者週間キャンペーン実施

役員選出管理委員会発足

家具転倒防止活動について

二、審議事項

◆会費未納者の退会日解釈に伴う事務処理

・定款に基づき、会費未納者の退会は未納年度の

の年度末を確認。

◆ハンディキャブ新車(12号車)の代金支払い

・支払方針を確認した。

相模原ボランティア協会 12月の予定

日	時間	内容
2(水)	13:30～	広報委員会ぼら通部会
6(日)	10:00～	HC委員会
	12:00～	障害者週間キャンペーン
9(水)	10:30～	傾聴委員会
10(木)	19:00～	ほかほかふれあいフェスタ役員会議
12(土)	10:00～	定例理事会
14(月)	10:00～	DVD制作実行委員会
18(金)	13:30～	役員選出管理委員会
19(土)	13:00～	事務局委員会
21(月)	13:00～	ぼら通12月号印刷
22(火)	13:00～	ぼら通12月号発行

※事務局年末年始の休み

12月29日(火)～1月3日(日)



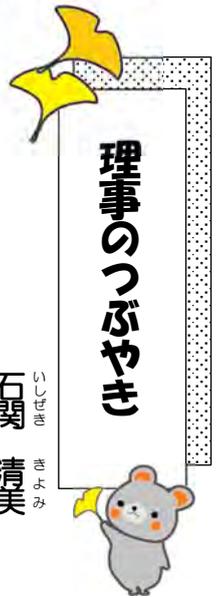
◆市の新しい生活様式対応事業に係る市民活動緊急支援助成金について
助成を受けることとしてマスク、フェースガード等感染予防用品を購入する。

◆40周年記念行事について
記念事業検討委員会を立ち上げる。
委員は正副会長並びに西本氏とする。

【次回理事会 12月12日(土) 10時より】

理事のつばさ

石関 清美



今年度前半は理事としての活動は新型コロナウイルスの影響で殆ど出来ませんでした。そこで最近私に起きたシヨッキングな出来事を書くことにしました。

9月の下旬、彼女は九州に引っ越して行きました。

彼女とは40年近く行動を共にして来ました。9歳7年下の若い彼女とは障害のある息子を通じての仲間でした。息子達が小学生の時には毎日水泳教室や工芸教室へ共に通い、中学生になると将来通わせる為の作業所作りに着手。そして高等部に入ると放課後の余暇活動で子供たちを指導した時も。その一方で作業所作りを具体化、場所を確保するために市役所に通い詰めた時も一緒でした。私の妹が羨ましがると、家族より長い時間を共有して来ました。

私には二人の息子がいますが彼女は一人息子で状況が違います。事ある毎に「私はどうするけれど貴女は一緒にするとは無いのだから考えて」とと常に言っていました。「分かっています。私もそう思うから」と30年以上。相模原に来たのも息子たちが施設にお世話になったのも一緒。気が付けばいつもそばに彼女が居ました。「この井もあつと一緒だと思っていたのですが…」

彼女の大切な一人息子さんが新型コロナウイルスの拡がって来た頃だった4か月の闘病生活の

末に亡くなってしまいました。それまで病気一つしたこともない元気印の彼はまだ45歳でした。

葬儀が終わわり、一週間は休んで彼女からメールが届きました。(家は歩いて20分3分の所なのですが「コロナが怖くてずっとメールとのやり取りでした」)

そこには2か月後に九州に引っ越すとの事。住居も決めたと言われていました。

「なんで！」突然の事で信じられず、眠れない日が何日か…。少し落ち着いたころ、その日、九州には彼女の高齢の両親が居られる事。最愛の息子の為に相模原に来たがこくなつてしまった今、ここに留まる必要は無くなった事。年齢的にも引っ越すのなら今の内にと思われたのだと納得しました。

この半年余り、数回しか会えませんでした。寂しでは感じませんでした。が今度とは違います。せめて引っ越しの手伝いで最後の共同作業を。ボランティア活動も旅行ももう一緒に出来なくなりました。寂しい事です。これからの私の生活は少し変わります。この間にか私の方が彼女を頼るようになってしまいました。

引っ越してから1か月、2度の長いメールが届きました。そこにはせっかくな環境が変わったのに少しも変わらない彼女が居る「これからもお世話になります」と。全クモー。思わず苦笑していました。

「コロナが収束したら九州まで会いに行こう！それまで元気でいなくて。立ち直りの早い私です。」



Twitter

ほらんていあ通信版 ツイッターコーナー

口喫

荒谷洋生子



いつから始めたか定かではないが近所の夕散歩が日課になっている。ありがたいことに我が家はそこそこ田舎である。段丘べりに道保川の源流のある公園や姥川、鳩川に挟まれサギやカルガモ、セキレイ、シヨウウタキ等々の鳥が戯れる。私たちが高齢の夫婦には素晴らしい環境だ。時には清流の貴公子「カササギ」「ササユリ」も。私たちは勝手に「運の良し日」や決まっています。

無精者の私にして、この夕散歩一時間足らずの散歩が唯一の運動だ。まことに今年には外出自粛の気運もあり、日常生活も引き籠もりの気味になった。そんな私の初夏あたりから夫が「良く眠れない」と度々口を揃えて言っていました。

実際は、夕食後8時ごろには、テレビを見ながら椅子に掛けたままで熟睡しているのだから、夜中の3〜4時目覚めるのは不思議なことでは無いのだが、一日起きると眠れないという夜が明けると本や新聞を読むと過していた。

ところが八月のある日、ガタリと動き回りの玄関を開け閉めする音で目を覚ますと「眠れないので散歩に行ってきた」とのこと。さうも活動的な夫には、ウィズコロナの生活は運動不足の気持がなげだ。

散歩自体は賛成だが、夫の年齢は四捨五入、いや五捨六入しても80歳。4日5日と続くのなら、もし途中で何かあったら・・・というところが眠れなくなっていました。加えて、そのたびに田舎に鳥や花々を報告してあげるので寝坊の私もついに同行したいです。

木の葉の色は季節になり、暖かい布団の誘惑に負けずにはなるが、老若介護の代行演習を思い無理のない程度に朝散歩を続けたいです。



を記入の上お申し込みください。

④電話番号

③お住まいの地区

②氏名

①12月11日セミナー受講希望

※FAX・Eメールの場合は

svc@sagamiharashishakyo.or.jp

Eメール

FAX 0427-789-6182

電話 0427-789-6181

申込 相模原市社協中央ボランティアセンター

定員 75名(申込順)

対象 活動に興味のある方

無料学習支援 子育ての居場所を立ち上げたい方

無料学習支援 子育ての居場所を立ち上げたい方

無料学習支援 子育ての居場所を立ち上げたい方

事例報告

代表 山角直也氏

講師 無料学習支援熟練のひとま

始めるためのあれこれ

講演 「子育ての居場所とは？」

場所 ソレイユがみ

日時 12月11日(金)午後2時~4時

「子育ての居場所」へのセミナー

相模原市社協講座案内



山口尚美画

《今月のイラスト
気持ちの良い秋の日は
おしゃべり
お出かけを》

おめでとうございます!

相模原市社会福祉功労者表彰と相模原市社会福祉協議会社会福祉活動推進功労者表彰を協会の会員が受賞されました。

*相模原市社会福祉功労者表彰者

吉田チエ子様・小山美智様

*市社協社会福祉活動推進功労者表彰者

多田和夫様・前島幸江様

受賞されたみなさまからのコメントは、次号に掲載させていただきます。

ほかほかふれあいフェスタ2020

障害者週間キャンペーン

障害者週間キャンペーンが、12月6日(日)12:00~14:00、相模大野駅北口・サンデッキ相模大野で開催されます。ハンド演奏や車椅子ダンス、ヒップホップダンス、よさこいソーランなど、イベントも満載です♪

待ってま〜す!

すぎさきひさこ

杉崎久子さんが事務局に仲間入り!

お世話になります

HC運転手から転身、10月からボランティア協会事務局の一員となりました杉崎です。思っていたよりはるかに複雑な仕事内容で、粗忽者の私は緊張の連続です。まだ見習い中ですが、一日も早く協会の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<10月の寄付者>

古矢野 榮 様

他15名の皆様からご寄付をいただきました。

<10月の寄付金>

総額 105,200円でした。

編集後記

トランプだバイデンだとアメリカの大統領選でマスコミは大騒ぎ。やっと決まったかなと思えばトランプ側から待ったがかかりまだ騒ぎは収まらずもな。そのうちいつの間にか国内ではすでに勢いでコロナ禍が拡大して。でも自然界は確実に秋へ冬へと進んでいる。紅葉の便りが届き、雪の便りが終わって行くのだ。コロナが始まりコロナで終わる一年。何時になったら双方収束するのか気のもめるこの頃である。(石)